

議会のひろば

2026.2.19 No. 85

特集……………P01
12月定例会概要 ……P03
一般質問……………P06
みんなの声……………P13
きかせてパパママの声 他…P15

今月の
特集

小笠東地区で活動する
「そんだもんで東」の皆様にお話を聞きました



代官屋敷竹あかり展

菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集 小笠東地区で活動する「そんだもんで東」の皆様に聴きました

「スマホで連絡を取り合って、出られるときに出演しているので楽しく続いていると思います」

「そんだもんで東」は、小笠東地区を拠点として、見守り活動、地域イベントの開催、防災マップ作りなど、地域のつながりをサポートするさまざまな活動を行っているグループです。

〈そんだもんで東〉は、どのようなきっかけで生まれた団体ですか

民生委員として活動していた方々が、社会福祉協議会主催のふれあい広場や自治会行事、見守り活動などを通じて、地域と関わってきたことが原点です。平成23年の東日本大震災を経験し、「地域で支え合う仕組みが必要だ」という思いが強まり、菊川市の地域社会福祉協議会立上げの動きと合わせて活動が本格化し、「そんだもんで東」として現在まで活動を続けています。

団体名の「そんだもんで」は、この地域で昔から使われてきた言葉で、肩肘張らず自然体で続けていこうという思いが込められています。

〈メンバー構成や、活動の様子を教えてください〉

立上げ当初は7人でしたが、現在は16人が活動しています。男性6人、女性10人で、年齢層は70代が中心です。

参加は強制ではなく、「できる人が、できる時に」を合言葉に、スマートフォンで連絡を取り合いながら無理なく続けています。

高齢化に伴い、活動は少しずつ縮小していますが、防災マップ作り、福祉講演会、地の神様づくりなど、地域に必要な活動を大切に続けています。



市民と議会をつなぐ特集ページです。今回は、小笠東地区を拠点に地域づくり活動や防災活動で活躍する、「そんだもんで東」の皆様に聴きました。

〈長く活動を続けてこられた秘訣や、心掛けていることは何ですか〉

特別なことではなく、「みんなで協力し合い、仲良くやること」を何より大切にしています。無理をせず、出られるときに出るという形だからこそ、楽しく続けられていると感じています。安全面を考えて、夜間の活動は行いません。できる範囲で活動を続けることを心掛けています。



〈防災マップ作りには、どのような思いが込められていますか〉

防災マップは、民生委員や自治会が連携して作成・更新している福祉マップが基礎となっています。要支援者や危険箇所を「見える化」することで、災害時にすぐ行動できる地域を目指しています。

個人情報取り扱いには難しさもあるので、日頃のご近所付き合いの中で互いに気にかけて合うことが大切だと考えています。

自治会長が代わるごとに多くの人が関わること、地区のことを自分ごととして考える意識が広がり、防災力の底上げにつながっていると思います。



おかえりなさいコール

〈活動の中で、大変だったことや印象に残っていることはありますか〉

地の神様づくりでは、竹やわらの準備が大変です。わらを確保し、当日まで良い状態で保管するには多くの手間がかかります。また、豆まきでは鬼役を務めています。ごどもから高齢者まで楽しめるよう工夫しています。

準備は大変ですが、地域の皆さんが喜んでくれることが大きな励みになっています。

〈ごどもたちとの関わりで、心に残っている活動はありますか〉

毎月第2水曜日に行っている見守り活動「おかえりなさいコール」は、長く続けている活動の一つです。下校するごどもたちを大きな旗で迎え、声をかけています。防犯の効果だけでなく、元気なごどもたちから地域全体が元気をもらっています。ごどもたちとのこうした日常的な関わりが、地域のつながりを実感できる大切な時間になっています。

〈今後の課題や、地域・行政への思いを教えてください〉

活動開始から18年程経ち、メンバーの高齢化が進んでいます。これからは、退職後の方や若い世代など、より多くの人に気軽に関わってもらいたいです。「できる時に、できることから」関わる人が増えることで、地域

の支え合いが次の世代につながっていくと感じています。

「そんだもんで東」による防災マップ作りや行事の準備、見守りの積み重ねは、地域の人と人のつながりをつくる大切な営みであり、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながっています。無理のない形で続けてきたこの活動が、次の世代へと引き継がれていくことが、これからの地域の力となると感じました。

〈取材協力〉ご協力ありがとうございました
そんだもんで東



- 樽林 誠一さん
- 加茂 ひろ子さん
- 赤堀 進さん
- 赤堀 さよさん
- 鈴木 廣子さん
- 一俣 美保子さん
- 妻木 昭子さん
- 杉山 ひさ子さん
- 赤堀 ミチヨさん

(写真右から)

概要

12月定例会
審議結果

会期 25日間 令和7年11月28日～12月22日



賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本田 高一	黒田 茂	松永 晴香	白松 光好	奥野 寿夫	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	須藤 有紀	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修	赤堀 博
議案第74号	菊川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第75号	菊川市特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第76号	菊川市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第85号	令和7年度菊川市一般会計補正予算(第4号)	可決	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第91号	建築工事の請負契約の締結について(令和7年度市単独事業災害対策本部棟・堀之内体育館新築工事(建築))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第92号	電気工事の請負契約の締結について(令和7年度市単独事業災害対策本部棟・堀之内体育館新築工事(電気))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第93号	和解及び損害賠償の額を定めることについて(令和7年度市単独道路維持整備事業舗装改築工事の設計違算に伴う契約解除)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。

委員会・分科会事前質疑の提出状況一覧

12月定例会の会期中に開催された委員会では、下記のとおり事前質疑が提出されました。

	頁数	総務建設委員会										教育福祉委員会						
		黒田 茂	白松 光好	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	赤堀 博	本田 高一	松永 晴香	奥野 寿夫	須藤 有紀	織部 光男	小林 博文	山下 敦基	山下 修
議案第85号一般会計補正予算(第4号)	224	24	0	5	9	12	4	13	-	3	7	19	10	17	0	4	9	12
総務建設委員会付託議案(議案第93号)	1	3	3	2	2	0	0	3	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-
教育福祉委員会付託議案(議案第82、83号)	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	12	8	4	0	0	7
合計		27	3	7	11	12	4	16	0	3	7	31	18	21	0	4	16	12

本会議にて各委員会に付託された議案について、議員は委員会・分科会にて質疑を行い、執行機関からの説明を受けて議論・審査を行います。役職等によって提出質疑数が少なくなる議員もいます。例えば、市の行財政運営の監査等を行う監査委員は、事前に決算審査等を行っているため提出質疑数は少なくなります。現在は織部ひとみ議員が選任されています。

質疑提出状況の公表は、委員会活動の見える化推進の一環として公表するもので、質疑の数で議員を評価するものではありません。実際の委員会質疑の一部は、次ページ「審査ピックアップ」に掲載しておりますのでご覧ください。

審査
ピックアップ
議案
第85号

菊川市一般会計補正予算（第4号）

令和7年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

④ 都市公園管理費（複合遊具修繕）について、修繕内容と場所、修繕後の耐久年数は。また、遊具点検はどのように行っているか。

⑤ 菊川運動公園「冒険の丘」の複合遊具におけるチューブスライダー部分の亀裂補修及び部品交換を行う。部分修繕では耐久年数を一律に設定することは難しく、また、使用環境（直射日光等）によって遊具全体の劣化速度も異なるため、定期点検により安全性を確認していく。遊具の点検については、全公園で年2回程度実施している。



〈執行部回答後の議員意見〉
特にプラスチック・FRP製遊具は、紫外線による劣化が早く、同じ時期に設置された遊具は、複数公園で使用禁止となる時期が重なるリスクがあるため、この辺りを考慮した更新時期の設定をしていただきたい。

⑥ 動物愛護管理費について、動物死体処理件数の増加とあるが、どういった動物の死体が多いのか。また、処理件数は。

⑦ 主にタヌキと猫が増えていく。例年この2種類は多いが、特にタヌキが増加傾向にある。処理件数は、12月8日時点で、タヌキ118件、猫108件、ハクビシン34件、鳥28件、アナグマ20件、その他29件である。

〈執行部回答後の議員意見〉
穴を掘られるなど畑や田んぼへの鳥獣被害が気になるところである。

猫については避妊去勢手術の拡大をし、不幸な猫を減らしていくことも考えていただきたい。

動物愛護団体による保護活動に集落支援員制度等を活用し、地域の課題として支援員を配置することも可能ではないか。

⑧ 道路維持管理費について、道路に張り出した樹木等の伐採の実施場所はどこか。また、自治会要望によるものか。

⑨ 小沢本線（小沢〜牧之原、畑総8号幹線）、東平尾森前線（七曲調整池東側）、半済牛淵線（菊川市立総合病院北東）の3路線で実施する。道路への張り出しや車両接触の危険を市が確認し、通行に支障があると判断したため実施する。



〈執行部回答後の議員意見〉
公園の竹や雑木が隣接住宅へ影響する事例が増えており、パトロール強化や早期対応が必要である。

④ 多文化共生地域づくり推進費について、中学生等海外派遣事業が中止になった理由は。

⑤ 近年の物価上昇に伴う渡航費の高騰により、平成24年度から派遣先としていたアメリカ合衆国ハワイ州ホノルルへの派遣を中止した。派遣先の選定は菊川市国際交流協会が行っており、同じ英語圏であり比較的安価で行けるニュージーランドを派遣先の候補地として調整を行ってきたが、ホームステイ先の高齢化などの理由により受入れが困難な状況であったため、今年度の派遣事業の中止を決定した。また、過去の中止の状況については、合併以降2度中止となっており、平成21年度は、参加申込者数が実施に当たったの最小人数に至らなかったことによる中止、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

〈執行部回答後の議員意見〉
中学生等海外派遣事業は、グローバルな人間をつくるという意味でも本場に重要な事業で、希望する中学生もいると思うので、ぜひとも継続できるように事業主体をフォローしていただきたい。



⑥ こども相談事業費（児童福祉）について、対応ケースの複雑化による面談・訪問の増加とあるが、その状況は。

⑦ 妊婦やこども・子育て世帯の総合相談窓口であるこども相談係に入る相談は、令和6年4月のこども家庭センター設置後、特に小中学校教員からの虐待通告や、児童及びその家庭の問題

に関する相談が増加した。関係機関が連携して支援方針を話し合う個別ケース検討会議は、時間帯が放課後になることが多く、また、保護者との面談は、なるべく保護者の都合に合わせて行なうため、開始時間が仕事後の午後6時を過ぎることもある。今年度は、夜間に何度も検討会議を行ったケースもあり、令和6年度の同時期に比べ、時間外対応が時間にして約1・4倍となった。

〈執行部回答後の議員意見〉
こども家庭センターができて、相談しやすくなって件数が増えたということは本当に良いことだと思う。

⑧ こども相談事業費（母子保健）について、産前申請等の利便性向上による増額とあるが詳細は。

⑨ 昨年度までは出産後の利用申請であったが、出産後、退院日から続けて産後ケアを利用さ

れる方が多くいたことから、出産後の手続の負担を減らすために、妊娠中から申請できるようにした。また、1人通算7日間利用できるため、利用方法によっては何回も申請が必要だったものを、最初の1回のみ申請に簡素化したことで、利用者が大幅に増えることとなった。

〈執行部回答後の議員意見〉
申請方法の変更による利便性の向上で利用者が増加したということは大変良いことだと思う。引き続き、手続の簡素化を図っていただきたい。

令和6年4月子育て応援課内に開設

菊川市 こども家庭センター

妊娠から産後のあなたのこと、子どものこと、
子育て家庭のための総合相談窓口

妊娠期 → 出産 → 乳幼児 → 幼児期 → 就学後から18歳ころまで

さまざまな専門職が皆さまのお悩みに寄り添って支援します

一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和7年12月定例会の会議録は準備出来次第となります)



一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：14名

※ 議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。

訂正

11月20日発行の議会のひろばNo84の織部光男議員の一般質問にて、「最瀕死亡年齢」と記載がありました。正しくは「最頻死亡年齢」です。訂正してお詫び申し上げます。

一般 集落支援員制度の活用

西下 敦基 (市民ネット)



総務省では、集落支援員の設置について「集落点検の実施や、集落のあり方に関する話し合いを通じ必要と認められる地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策についても、集落支援員を活用することができ

ほか、集落支援員を地域運営組織の事務局機能を担う中核的な人材とするなど、集落の暮らしを支える事業やサービスの担い手とすることや、移住者を地域に受け入れる仲介役とすることができるものとする」と説明している。財政措置は、集落支援員1人当たり、専任500万円、兼任40万円を上限として特別交付税措置がされる。

◎ この制度を市に取り入れ、自治会長などの役員に兼任集落支援員となっていたら、地域の現状把握、住民同士の話し合いを進めていくことはできないか。

▲ 自治会業務へのさらなる負担感につながることも懸念されることから、自治会役員の皆さまに集落支援員を兼任していただくことは難しいと考えている。

◎ この制度の活用をしたいといった自治会があった場合は。

▲ そうした声が地域から上がってくるのであれば、対応を検討していく必要があると考えている。

◎ 地区センターの事務長を集落支援員に活用できないか。

▲ 今後、課題を整理したうえで、総務省の見解を踏まえて進めていく。

他に「地域活性化起業人制度の活用」について質問しました。



一般 菊川市のにぎわい創出

坪井 仲治 (みどり21)



国は、居住区域以外の地域に継続的に関わる「関係人口」を増やすための新しい制度の創設を考えている。今後、菊川市においても積極的な取組が必要と思うため、菊川市のにぎわいの創出についての施策や考え方について質問をした。

◎ 交流人口よりも関係人口のほうが移住定住につながると思うが、関係人口の創出に関する施策は。

▲ 本市では人口減少対策として、知ってもらう、来てもらう、関わってもらう、住んでももらうという4つのステップに整理し、それぞれの段階にあった施策を展開している。最終目標である移住定住人口の増加を目指すためには、魅力的なまちづくりを進めていくとともに、対外的な認知度の向上と、人を呼び込むための取組を進めていく必要があることから、関係人口に係る施策として、茶畑の中心で愛を叫ぶ、黄色いポスト聖地巡礼プロジェクトなどを行っている。また、きくがわ応援大使による菊川の魅力発信や関係人口の創出を図っている。



◎ 現在、各地で道の駅やショッピングセンターが建設されてにぎわいを創出しているが、菊川市の道の駅建設計画は。

▲ 道の駅などの整備は、市のにぎわいづくりにつながる有効な手法の一つと認識しているので、主要な道路の沿線に道の駅が設置可能か調査していく。

一般 誰もが使える公共トイレに

松永 晴香 (みどり21)



菊川市内の公共施設や公園のトイレは、洋式化が進んでいる場所もあるが、和式のままの場所も多く見られ、手すりやベビーカー、多目的トイレといった付帯設備が十分でない場所もあり、誰もが安心して使えるとは言い難い現状から質問した。

◎ 公共トイレ94か所のうち、1つも洋式が設置されていないトイレは何箇所あるか伺う。

▲ 洋式が1つも設置されていないトイレは20か所である。

◎ 和式しかなく、高齢者の利用が多い場所、黒田家代官屋敷駐車場トイレなどの個室トイレ内に、手すりの設置はできないか伺う。

▲ 代官屋敷の駐車場トイレについては、設置から年数が経過し、施設の故障等も生じている。また、高齢者の利用も多いことから、現在洋式化を検討している。

◎ 蓮池公園など築年数の経過や市内外からの利用が多い場所は改修の必要があると考えるが、見解を伺う。

▲ 蓮池公園については、バリアフリー化もあわせ、全面改修という形で整備を考えている。事業化まで時間がかかると思うが、着手できれば2か年で設置が可能と考える。

◎ 子育て世代が多く利用する公園に、おむつ替え台・ベビーカー・子ども便座を設置できないか伺う。

▲ この3つの設備は整えていきたい。まずは、多目的トイレにおむつ替え台・子ども便座の設置を始めていきたい。ベビーカーについては、スペースなどを研究しながら検討していく。



一般 高齢者等世帯に対するごみ出し支援

東 和子 (みどり21)



国においては、令和7年を見据えた地域包括ケア計画により、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を構築することが示されてきた。

Q 菊川市における最新の75歳以上の高齢者数、高齢者のみの世帯数及び高齢者の単身世帯数について伺う。

A 県が実施した令和7年度高齢者福祉行政の基礎調査において、本市の4月1日時点の75歳以上の高齢者数は7328人である。高齢者のみ世帯数と単身世帯数については、65歳以上のみ公表されているため参考値となるが、高齢者のみ世帯数は4508世帯、そのうち単身世帯数は2287世帯である。



Q 特別交付税が交付される高齢者等世帯に対するごみ出し支援事業を、生活支援体制整備事業の一つとして取り組んでいただきたいが、その見解について伺う。

A 現在、利用者が自立した生活ができるよう、ホームヘルパーによる入浴、食事などの支援や、普段の生活におけるちょっとした困り事など、身体介護以外の支援をシルバー人材センターへの委託により実施するサービスがあり、この中でごみ出し支援を受けることが可能である。

一般 各種ハラスメントをなくすために

小林 博文 (みどり21)



働きやすい、働きたい職場の環境整備のため、各種ハラスメントに対する定義づけ、未然防止等の観点から、条例制定の検討が必要と感じ質問した。

Q 各種ハラスメントに関する規程や、第三者機関を含む通報先はあるか。

A パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等ハラスメントに関し、防止や対策に関する規程を設けている。通報先は所属長や総務課と規定しているが、第三者機関の公平委員会にも通報できる。

Q 各種ハラスメント疑い事案が発生した際、関係者のプライバシー保護や不利益を被ることのない配慮は。

A 規程の中で定めている。通報を受けて聞き取りを行う際、他の職員の名に触れない場所で行うなど、規程に沿って慎重な対応をとっている。

Q 各種ハラスメント疑い事案の加害者が組織外の人物だった場合の対応措置は。

A 規程に基づき事実関係を調査し、当事者に対して関係機関と連携して対応する。

Q 各種ハラスメント防止に対する研修の内容及び実施頻度は。

A 研修は年1回、定期的に職位を変えて実施している。事例紹介や判断軸を学び、相談窓口も周知している。

Q 各種ハラスメント防止の観点から条例を制定する考えはないか。

A 組織内のハラスメントには規程を設けている。カスタマーハラスメントを含めた条例制定は、他自治体等の情報を収集し、制定に向け検討する。



一般 市営住宅の入居条件

白松 光好 (みどり21)



菊川市内の市営住宅は上本所団地、長池団地、赤土団地の3か所ある。入居条件に、保証人2人を確保する等があり、条件緩和の必要性を感じ質問した。

Q 現在菊川市内3か所にある各市営住宅のそれぞれの入居率は。

A 令和7年11月末時点での各市営住宅の入居率は、上本所団地が59・5%、長池団地が65・4%、赤土団地が75%となっている。

Q 市営住宅長寿命化の現在の進捗状況は。

A 平成25年度から令和5年度までの第1期計画期間で建物躯体の長寿命化が完了している。昨年度からの第2期計画期間では、赤土団地の共同灯のLED化工事を実施し、本年度は上本所団地、来年度は長池団地にて実施する予定である。

Q 市営住宅入居条件の保証人徴求を保証会社に委託、または保証人を1人にする予定は。

A 保証会社の活用は市の家賃滞納

リスクがなくなるが、保証金支払いの問題もあり、慎重な検討を要する。保証人を1人にすることは、本年度の事例を参考に、保証人規定の見直しを進めていく。

Q 今後空き家を市営住宅として活用する予定はあるか。

A 空き家を市営住宅として利用するには、防災、防犯、バリアフリー化に配慮した改修が必要になることなどから予定はない。

他に「菊川市の基金の現状」について質問しました。



上本所団地

一般 庁内横断型のスポーツ政策

本田 高一 (菊川ゆめ未来)



スポーツを「教育」にとどめず、「まちづくり・健康・経済政策」として具体的に推進する考えについて質問した。

Q スポーツ行政の位置づけと体制改革について、市長の認識と今後の考えは。

A 現在はスポーツ行政を社会教育課が担っており、生涯・競技スポーツの推進に取り組んでいる。プロセスに係る連携は市全体として取り組んでいる。現時点ではスポーツ行政を市長部局に移すことは考えていないが、今後も庁内連携を強化しスポーツ行政を市長部局に位置づけることも含めて検討していく。

Q 庁内横断と市民協働により、健康寿命延伸や医療費抑制につなげる考えは。

A 庁内連絡会を開催し、事業の進捗状況等話し合い、連携しながら進めている。地域団体、企業、医療機関と連携し、パートナーシップ構築によって生活習慣の改善や社会参加の促進などを図っている。その成

果として、お達者年齢県内トップクラスなど健康寿命の延伸や医療費抑制等が見込まれると考えている。

Q 財源を既存施設の機能向上や市民団体との協働に活かす考えは。

A 市民主導イベント等によって税収増にもつながる。こうした効果も踏まえ、老朽化した施設の改修など優先度の高い分野に充てたい。市民団体による関わりは、指定管理者と各種団体との連携やスポーツ教室の開催といった利用促進策が進められている。

他に「部活動地域移行の加速と市の財政的、制度的対応」について質問しました。



一般 放課後児童クラブの充実を

奥野 寿夫 (日本共産党)



放課後児童クラブ（学童保育）の充実について質問した。

㉑ 入所児童数について伺う。

㉒ 11月1日現在の入所児童数は538人、待機児童は16人。今年5月時点の市内小学校児童数に対する入所比率は、1から3年生が39・8%、4から6年生は6・6%となっている。

㉓ 待機児童がいる加茂小学校放課後児童クラブなど、今後待機児童が発生しないための対策は考えられるか。

㉔ 加茂小学校放課後児童クラブは、今年度から加茂地区センターの研修室を借りて受入人数を増やしているが、さらなる受入場所の確保が必要だと考えている。現在は利用ニーズに地域差があるため、需要の高い長期休業期間中は校区以外の放課後児童クラブの利用も可能としている。今後は実施場所についてさらに協議を行い、民間事業所等と連携しながら受入場所の確保に努める。



㉕ 利用料について、現在の検証状況を伺う。全国で56%のクラブが兄弟・姉妹利用世帯への減免を行っている。利用料の引上げではなく減免の拡大が必要だと思うが、見解を伺う。

㉖ 現在半年分の経費の実績に基づき、本年度見込まれる原価計算を行っており、令和9年度以降の利用料について検証を進めている。多子世帯や就学援助利用家庭への減免についても、他市町の状況を参考にしながら、利用料の検証結果を踏まえ協議していく。

㉗ 他に「菊川市に働く会計年度任用職員の処遇改善」について質問しました。

一般 市内の製造業・基盤技術の維持

石井 祐太 (市政の見える化党)



AIや自動化技術が急速に進展する一方、日本の産業を支えてきた切削、金型、鋳造、鍛造などの基盤技術分野では、担い手不足と技術継承の断絶が全国的な課題となっている。さらに、大学における素材や加工などの研究分野が縮小し、基盤となる学術が失われつつあるとの指摘もある。菊川市においても工業は地域経済を支える重要な産業であり、人口減少・高齢化が進むなかで、基盤技術を将来にどう引き継いでいくかが重要であると考え質問した。

㉘ 市として、地域の基盤技術の維持や技術継承、担い手不足が進む現状をどのように捉え、優先度をどう位置づけているか伺う。

㉙ 本市は製造業が盛んな地域であり、基盤技術の維持や技術継承、担い手不足は、いずれも重要な課題である。特に、担い手不足、人手不足については、優先すべき課題と捉えている。

㉚ 市内の工業関係事業者との意見交換では、どのような課題が上がっ

ているか伺う。

㉛ 多くの企業から、若い人材が不足しているとの声が聞かれている。市では、市内企業見学バスツアーの実施や就職情報誌の配布、奨学金返還支援制度により、企業の採用力強化を図っていく。

㉜ 基盤技術の研究分野が縮小するなか、大学等と連携し、地域として技術の土台を支える考えはあるか伺う。

㉝ 市単独での取組は難しいため、広域で連携し、フォトンバレーセンターなどの関係機関を活用した企業支援を行っている。



一般 防災意識向上のための対策は

藤原 万起子 (市民ネット)



市民一人ひとりの防災意識と日常的な準備はもちろん、市民と行政が協働し、防災・減災の意識を高めていくことが安全・安心を守るために不可欠である。本市における市民の防災意識向上に向けた取組について伺う。

Q 情報が多様化するなかで、市民が混乱せずに必要な情報へアクセスできる仕組みの改善策は。

A 災害時には同報無線や防災ラジオ、茶こちゃんメール、HP、SNS、dボタンなど複数の方法で周知している。気象庁や総務省の情報は、茶こちゃんメールに加え、来年度より市公式LINEでも発信する。

Q 地域ぐるみの防災教育の強化と、地域防災訓練の参加率向上に向けた工夫は。また、企業との連携は。

A 本年度は女性向け防災ワークショップで地域防災訓練参加を呼びかけている。企業との連携としては、協定先である県トラック協会や市内3社と合同での緊急物資輸送訓練を本年度初めて実施する。連携訓練を

充実させ、防災力の強化を図る。

Q 家庭内備蓄の促進は、今後どのような広報・支援策を講じるか。

A 備蓄の必要性について、出前行政講座や広報紙、SNSで呼びかけるとともに、来年度、中高生を対象に防災キャンプを開催し、食や家庭内備蓄について学ぶ機会を設ける。

Q 防災用品の購入支援など今後の計画はあるか。

A 小学生や高校生が防災啓発ポスターを作成し、スーパーやホームセンターの防災用品や関連商品の棚に掲示し、家庭内備蓄の啓発をしている。

他に「災害発生時における市内の情報共有体制」について質問しました。



(出典：菊川市公式Instagram)

一般 リニア新幹線工事の現状

黒田 茂 (菊川ゆめ未来)



掘ってみなければ実際に湧水の流れが分からない事業に菊川市のライフランを預けるわけにはいかないと考えます。静岡工区着工に舵を切るには、大変危惧される問題が多くある。工事が原因で、令和6年に岐阜県瑞浪市大湫町で地下水脈が影響を受けた。水源に大変苦労してきた菊川市、ライフランのみならず、商

工農業に影響が出れば、大井川流域の市町は存続の危機に直面する。静岡県の土地に係る工事区間は10・7kmであるが、大井川水系に直結する

県境の話ではないと考える。いづれ天竜川水系、安倍川水系に影響が出ることも予想される。なぜなら、陸続きで地中は繋がっているからである。故に静岡県民、特に菊川市民にとつて不安な事業である。水資源や生態系への影響、残土の処分先や処理、工事の信ぴょう性と安全性、将来的な補償問題等多岐にわたる不安満載の事業に対し質問した。

Q 市民に現状を伝えるために市主体の説明会を開催するかどうか。

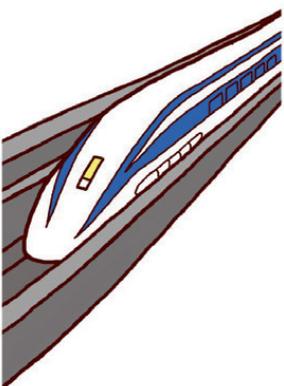
A リニア工事について、専門的な

情報を誤りなく、分かりやすく知るためには、県の出前講座を活用していくことが一番有効と考えているため、市主体の説明会の開催は考えていないが、県の出前講座開催への橋渡し役はする。

Q 市民の命と財産を守る事を第一に優先する立場の菊川市長は、リニア工事に対して推進か否か伺う。

A リニア中央新幹線工事に反対ではないが、現在の水量と水質が恒久的に確保される必要がある。市民や事業者の不安を払拭できるよう、引き続き国や県、流域市町と連携して取り組んでいく。

他に「重度障害者の歯科治療」について質問しました。



一般 災害時の水の確保

山下 修 (みどり21)



能登半島地震では、水道施設の甚大な被災による断水の長期化等により、水源の確保が大きな課題となった。

Ⓒ 長期断水時に遮断装置のある配水池や耐震性貯水槽で、どの程度の期間必要な水量を確保できるのか。

Ⓐ 市内で緊急遮断弁がある配水池は7か所、飲料水兼用耐震性貯水槽は9か所あり、発災後の推定貯水量は合計で1万6500m³となる。市内全域で断水が継続した場合、発災後11日間分の必要量となる。

Ⓒ 発災後に使用する水量は1人1日当たり何ℓと想定しているか。

Ⓐ 発災から3日までは生命維持のため、最低必要水量として3ℓ、発災4日から7日までは炊事やトイレ等、最低生活の水準を維持する量として20ℓ、発災8日から10日は、その最低水準に洗濯や掃除等を加えた量として50ℓ、発災11日から1か月は生活可能な水量として100ℓを想定している。

Q. この水、何のための水?



井戸水を手洗い・水洗トイレ・風呂などの生活用水に活用
(出典：磐田市自治会連合会だよりvol.39)

Ⓒ 飲料水として、市民に届けるための給水車の確保はどうか。

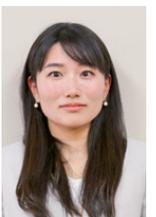
Ⓐ 1人3ℓ配る場合、1日の必要量は140t。2tの給水車で1日に運べる量を12tとした場合に給水車が12台必要となる。市で1台所有しており、足りない11台を、応援協定を締結している自治体や日本水道協会に依頼する。

Ⓒ 災害時協力井戸登録制度とは。

Ⓐ 市民等が所有又は管理する井戸を災害時における協力井戸として登録していただき、市民の生活用水を確保することを目的としている。

一般 菊川駅前広場の開発について

須藤 有紀 (みどり21)



Ⓒ 駅前広場東側の市有地で民間事業者の参入を促す積極的働きかけの展望は。

Ⓐ 人々の通行や滞留が見込まれ多様な活用の可能性がある当該市有地での官民連携は重要と考える。サウンディング調査等、民間との対話を通じて、活用方法を検討していく。

Ⓒ 立地条件以外の菊川市の魅力はどう捉え、駅前広場の開発を考えているか。

Ⓐ 本市の魅力の1つはまちづくりへの市民参加、特に若者の活発な活動と捉えている。新たに誕生する駅前広場が市民、若者の活動の場となり、にぎわいが生まれるまちづくりをしていくことが重要であると考える。

Ⓒ 実証実験の実施等の展望は。

Ⓐ 駅前広場ロータリー等の整備は、令和9年度未完了予定である。広場東側市有地は、期限を定めず段階的な整備を考えている。実証実験は、キッチンカー等を使ったマルシェやイベントの開催など、市有地のポテ

ンシャルを最大限発揮できる活用方法を検討する。

Ⓒ 創業希望者の支援策の1環として駅前の実証実験を活用する考えは。

Ⓐ 産業支援センターと連携し、創業支援の1つのツールとするなど官民連携の実証実験は可能である。積極的に活用する方向性で考える。

Ⓒ 駅前広場完成後のビジョンは。

Ⓐ 若者は放課後や電車の待ち時間を充実して過ごす、ファミリー層はこども連れで楽しむ、高齢者は外出のきっかけや交流の場となる、魅力的な駅前を目指していきたい。

他に「若者を呼ぶ農業を目指して」について質問しました。



(出典：菊川駅周辺空間活用構想)

一般 平和を守るための教育とは

織部 光男（無所属）



菊川市が平和都市宣言をして16年が経過した。今回は市民として平和を考える。平和維持には市民の政治監視が必要である。安全保障関連法の集団的自衛権と敵基地攻撃能力容認、1000km長距離ミサイル容認を、日本弁護士連合会は憲法違反だと言っている。憲法には、戦争の放棄があり、守っていれば戦争は起こらない。広島市では、毎年平和記念日に「平和を考える集い」で平和教育の充実を図っている。「ひろしま平和ノート」という副教材を作成し、小学1年生から高校3年生まで、発達段階に応じた平和学習をしている。若い世代への継承が根底にある。防衛費は、令和7年度8・5兆円、5年間で43兆円、全世界の軍事費の合計は約400兆円である。沖縄琉球弧は、基地を57か所に増強、敵基地攻撃長距離ミサイル配備、避難訓練等を行い、戦争前の準備状態である。市は昨年、広島市立基町高等学校生徒が制作した「原爆の絵」のパネルを作成し、活用方法として、今後、学校の平和学習教材として貸し出すと市長の答弁があった。

Q 原爆の絵のパネルについて、どのような活用を考えているか。

A 今後も、平和に関する学習の1環として、平和について学ぶ一つの手段として、適切に活用できるように努めていく。

Q 市長は今の政府に危機感を感じているか。

A 安全保障政策を含め、国の政策課題を改善するため、政府が実施する取組に注視し、本市が取り組んでいくべきことを考えていく。



議会豆知識



「監査委員」

市の行財政運営が、法律に沿って、ムダなく、効率的に行われているかを確認するため、監査委員という独立した機関があります。監査委員は、市長が議会の同意を得て選任します。菊川市では、職員を有する者1人と市議会議員1人の計2人で構成されています。

主な監査・審査の種類

- ・ 例月現金出納検査
毎月、現金の出し入れが正しく行われているかを確認
- ・ 定期監査
毎会計年度、市の財政や経営に関する事務が適正で効率的かを監査
- ・ 決算審査
決算書等の内容が正確か、予算が適切に使われたかを確認
- ・ 行政監査・随時監査
必要に応じて、事務の進め方や財務処理を監査
- ・ 住民監査請求に基づく監査
市民からの請求を受けて行う監査など

監査委員制度は、市政の透明性と信頼性を高めるための大切な仕組みの一つです。

《皆さまの声をお聴かせください》

「議会のひろば」を読んだ感想やご意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製 “きくのんクリアファイル”をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。

※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。

メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です。



傍聴者より

市民生活の心をついた質問答弁で、日頃から感じられた質問等がなされ感心しました。短時間の傍聴でしたが、議員等の真摯な取り組みが見られ感動しました。

傍聴者より

「災害は忘れたころにやってくる」いつどんな災害が起きるか分からない近年ですが、菊川市が様々な災害に対応できるマニュアルや準備をしていることが分かりました。引き続き防災意識を高める施策をお願いします。

みんなの声

議会活動レポート

脱炭素社会に向けた取組について

総務建設委員会

10月27日に脱炭素社会に向けた取組を行う袋井市内の事業者へ視察に伺いました。遠州フォレストエナジー発電所では、貯木場、チップ工場及びバイオマス発電所を、株式会社八ヶ代造園では、早生樹ユーカリの圃場とユーカリ苗を育成するガラス温室を見学をさせていただきました。



原子力勉強会について

菊川市議会

11月10日に浜岡原子力発電所へ視察に伺いました。近況報告を受けた後、4号機原子炉建屋内の視察をし、東北大学金属材料研究所特任教授出光氏より、「原子燃料サイクルについて」と題し、使用済燃料の再処理や保管方法、放射性廃棄物の処分方法について講義を受けました。



菊川市までお越しくださった皆さま、ありがとうございました。

10月1日	埼玉県北本市議会 建設経済常任委員会
10月10日	静岡県御殿場市議会 総務委員会
10月23日	山形県長井市議会 議会運営委員会
10月24日	愛知県弥富市議会 総務建設委員会
11月14日	埼玉県春日部市議会 議会運営委員会
1月15日	栃木県小山市議会 議会運営委員会
1月19日	東京都稲城市議会 議会運営委員会
1月21日	愛知県瀬戸市議会 総務生活委員会
1月21日	神奈川県茅ヶ崎市議会 文化教育常任委員会
1月22日	長野県飯田市議会 会派 公明党
1月29日	茨城県土浦市議会 会派 政新会

令和7年10月から令和8年1月までの期間に11件の行政視察をお受けしました。

他市議会からの
視察受け入れ



提言書を提出しました



「令和8年度当初予算編成に対する提言書」

一般会計予算決算委員会

9月定例会でおこなった令和6年度決算審査の内容を踏まえた令和8年度当初予算編成に対する意見を、総合計画に掲げる5つの基本目標に沿って提言書としてまとめ、4つの事業に対する事業評価の結果と併せて、議長から市長へ提出しました。



「学校と地域を考える」

政策討論会

政策討論会では、令和7年のテーマ「学校と地域を考える」を分科会ごとに細分化し、各分科会にて「小中一貫教育について」、「中学校の部活動の地域展開について」、「いじめ・不登校問題について」を調査・検討しました。各分科会からの報告をもとに提言書を作成し、市長へ提出しました。

提言書本文は下記のURLまたはQRコードからご覧ください。

<http://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/gikaijimu/katudouhoukoku/katudouhoukoku1.html>



きかせてパパママの声

Vol.40

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。



生まれも育ちも菊川です。

こどもと一緒に買い物や散歩をしていると、地域の人たちが話しかけてくれます。こどもの成長を見守り、一緒に喜んでくれる温かいまちです

内藤 舞さん

2月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

2月	
10日(火)	施政方針・議案の提案説明
12日(木)	
18日(水)	質疑・討論・委員会付託
3月	
3日(火)	委員長報告・質疑・討論・採決
4日(水)	代表質問
5日(木)	一般質問
6日(金)	
26日(木)	委員長報告・質疑・討論・採決
27日(金)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

あなたもできるこんなこと!



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

次回の議会のひろばは

5月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに!



編集後記

寒も明け、春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。さて、菊川市議会の景色が新しくなり一年が経ちました。議員17人の内7人が新人議員となり、議会だより編集委員も半数が一期生です。今まで以上に市民の皆様へ寄り添った形でわかりやすく親しみの持てる内容でお届け出来ればと思っています。

(編集委員 黒田 茂)

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています!



ダウンロードはこちら

マチイロ



表紙の写真

菊川市の風景を紹介していきます。

菊川市観光協会主催
第10回 菊川市みどころフォト
コンテスト(2024年)
準グランプリ

「光あふれて」

松本徳之さんの作品

撮影地: 菊川市下平川

代官屋敷竹あかり展

